

磯焼けから海を守る！

～ 口之津地区・加津佐地区でウニ駆除を実施 ～

みなさん、こんにちは。水産課です。

海藻が生い茂る藻場は魚たちが卵を産んだり、稚魚が隠れて育ったりする、海の生き物たちにとってなくてはならない大切な場所です。

しかし、近年、全国の海で海藻が消えてしまう「磯焼け」という深刻な問題が起きています。南島原市の沿岸も例外ではありません。この磯焼けの大きな原因の一つが、増えすぎたウニ（ガンガゼなど）による**海藻の食害**です。ウニが獲れていいのでは？と思うかもしれませんが、磯焼けの場所のウニは、結果的にエサ不足になり、中身が入っていないため売り物にもなりません。放置するとさらに磯焼けが進む悪循環に陥ってしまいます。

そこで、先日、口之津地区漁業者活動組織や加津佐地区漁業者活動組織の皆さんは、海中でのウニ駆除活動を実施しました。

ひとつずつ手作業での地道な駆除

岩の隙間や影に隠れているウニを見つけ出し、鉄の棒などを使って一つずつ丁寧に破碎し、1回の活動でなんと約1,000～2,000個ものウニを駆除しています。

非常にハードな作業ですが、「豊かな海を取り戻したい」という思いで地道な活動を続けています。



口之津地区で駆除する様子



加津佐地区で駆除する様子



ガンガゼウニ



ムラサキウニ

※注意

駆除の様子が分かりやすいように石の上で写真を撮っています。
駆除は海中で実施しています。



海中に潜むたくさんのウニ



中身が入っていないウニ

これからの海のために

現在、漁業者の高齢化や人手不足といった厳しい現状もありますが、地区の皆さんは、**未来の海**のために今後も定期的なモニタリングや駆除活動を続けていく予定です。

水産課では、これからも豊かな南島原市の海を守るため、皆さんの活動を全力でサポートしていきます。